

母の聖戦 (2021)

LA CIVIL

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ベルギー／ルーマニア／メキシコ

色彩 Color

時間 135分

初公開日 2023/01/20

公開情報 ハーク

映倫 G

【キャッチコピー】

娘は私が取り返す――

【解説】

誘拐ビジネスが蔓延するメキシコでの衝撃の実話を基に、愛する娘を取り戻すために自ら犯罪組織に立ち向かっていった一人の母親の壮絶な闘争を描いた社会派サスペンス。主演は「ザ・クラブ」「君がそばにいたら」のアルセリア・ラミレス。監督はドキュメンタリーを中心に活躍し、本作が劇映画デビューとなるテオドラ・アナ・ミハイ。また、ダルデンヌ兄弟やクリスティアン・ムンジウ、ミシェル・フランコという世界的映画監督が製作に名を連ねていることでも話題に。

メキシコ北部の町で暮らすシングルマザーのシエロ。ある日、一人娘のラウラが犯罪組織に誘拐され、どうにか工面した身代金を支払ったものの娘は返ってこなかった。警察に相談しても相手にされず、あまりの理不尽な状況に彼女の怒りは増すばかり。ついに自分の手で娘を取り返すと誓い、身の危険を顧みず自ら犯罪組織の調査に乗り出すシエロだったが…。

【クレジット】

監督	テオドラ・アナ・ミハイ	Teodora Ana Mihai	
製作	ハンス・エヴァラエル	Hans Everaert	
共同製作	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
	デルフィーヌ・トムソン	Delphine Tomson	
	テオドラ・アナ・ミハイ	Teodora Ana Mihai	
	クリスティアン・ムンジウ	Cristian Mungiu	
	チューダー・レウ	Tudor Reu	
	ミシェル・フランコ	Michel Franco	
	エレンディラ・ヌネス・ラリオス	Erendira Nunez Larios	
脚本	アバクク・アントニオ・デ・ロサリオ	Habacuc Antonio De Rosario	
	テオドラ・アナ・ミハイ	Teodora Ana Mihai	
撮影	マリウス・パンドウル	Marius Panduru	
編集	アラン・デソヴァージュ	Alain Dessauvage	
音楽	ジャン＝ステファヌ・ガルベ	Jean-Stephane Garbe	
出演	アルセリア・ラミレス	Arcelia Ramirez	シエロ
	アルバロ・ゲレロ	Alvaro Guerrero	グスタボ
	アジェレン・ムソ	Ayelén Muzo	ロブレス

ホルヘ・A・ヒメネス
ダニエル・ガルシア
エリヒオ・メレンデス
アレッサンドラ・ゴニ
バネサ・ブルシアガ
マヌエル・ビジェガス
メルセデス・エルナンデス

Jorge A. Jimenez
Daniel Garcia
Eligio Meléndez
Alessandra Goni
Vanesa Burciaga
Manuel Villegas
Mercedes Hernández

ラマルケ中尉
プーマ
キケ
イネス司令官
ロシ
リサンドロ
プーマの母親